

経営比較分析表（令和3年度決算）

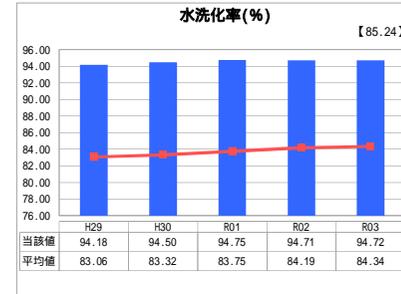
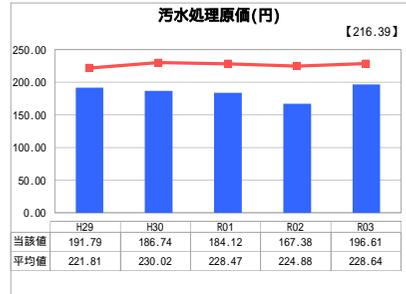
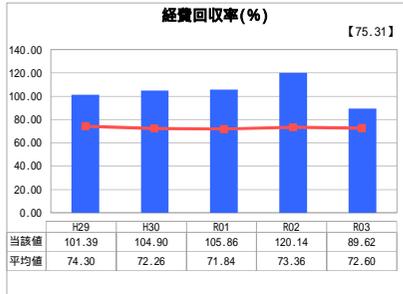
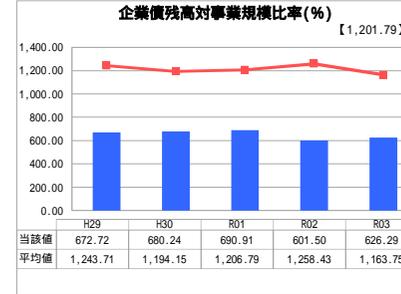
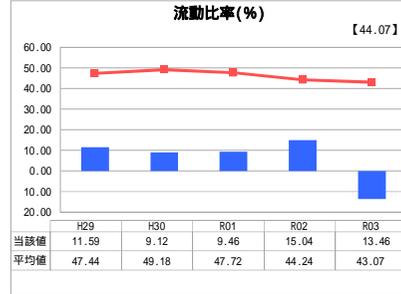
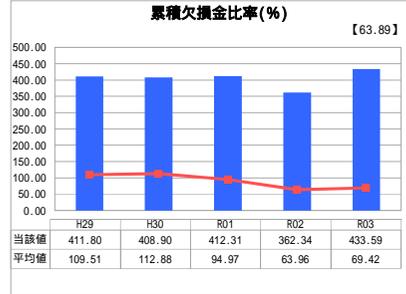
兵庫県 小野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	54.84	51.70	92.10	2,783

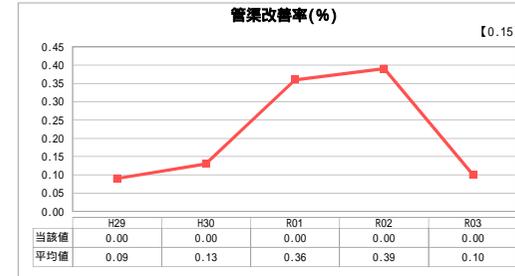
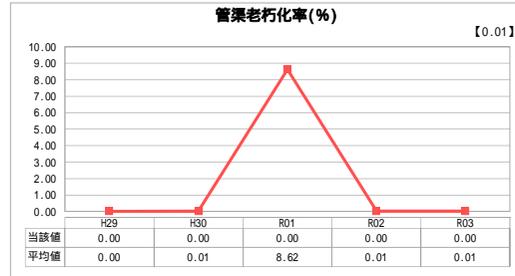
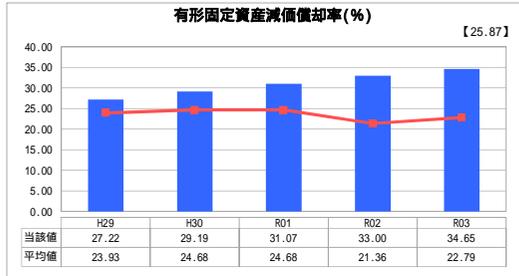
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
47,833	92.94	514.67
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
24,589	11.11	2,213.23

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率
使用料改定により収支は改善されたものの、有収水量の減少により、100%及び類似団体並びに全国の平均値と下回った。今後も経費の削減に努め、経営改善を続けていく。

累積欠損金比率
使用料改定を行い経営改善を図ったものの、支払利息額が多く、依然累積欠損金は多く、類似団体及び全国の平均値を大きく上回っている。今後も経営改善を図り累積欠損金の削減に努める。

流動比率
類似団体及び全国の平均値を大きく下回っている。多大な支払利息等を抱えているため経営状況の悪化傾向にあるが、経費の削減に努め、経営改善を続けていく。

企業債残高対事業規模比率
今後3年程度、企業債償還ピークを迎えることから、将来的には当該数値の改善が見込まれるが、今後も投資に必要性を検討した上で計画的に実施していく。

経費回収率
H28年度に使用料改定を行ったことで当該数値は改善傾向にあったが、人口減少等の有収水量が減ったことで悪化しつつある。今後も経費の削減に努めつつ、使用料の見直しについては随時検討を行っていく。

汚水処理原価
R3年度は有収水量が減少したことで、当該数値が上昇した。類似団体及び全国の平均値を下回っているものの、施設の老朽化等により維持管理費の増加が見込まれるため、一層の経費削減に努める必要がある。

施設利用率
区域内すべてにおいて流域下水道に接続しているため、当該数値は0となっている。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、類似団体及び全国の平均値を上回っており、老朽化が進んでいる状態である。今年度から数年にかけて積極投資を計画しており、施設の更新を行うことから、当該数値の急激な悪化が抑制される予定である。今後も平準化を念頭に計画的な投資を行っていく。

全体総括

H28年度の使用料改定により、やや改善傾向になったものの、使用者の大部分が民家であることや区域内密度が高くないため、経営状況は依然厳しい状況である。しかし、数年後に企業債償還のピークを終えることから、改善の兆しも見込まれており、引き続き経費の削減に努め、経営改善を行う。資産についても有形固定資産減価償却率が上昇傾向にあるため、長寿命化を含めた施設の投資については、費用対効果や投資の平準化等を勘案し計画的に進めていく。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。